

令和5年度

環境経営活動レポート

・対象期間 2023年4月1日～2024年3月31日

・レポート発行日 2024年8月1日

・レポート改定日 2024年10月9日

河内印刷出雲株式会社

目次

1.	はじめに	P1
2.	組織の概要	P1
3.	対象範囲	P2
4.	会社経営の基本理念	P3
5.	環境経営方針	P3
6.	環境経営目標と実績	P4
7.	環境経営計画の取組結果と評価	P5～P9
8.	環境関連法規等の順守状況及び、違反・訴訟等の有無	P10
9.	教育・訓練等の実施状況	P11
10.	代表者による全体評価と見直し	P11
11.	審査状況・審査指摘事項の対応	P11
12.	次年度環境経営目標及び環境経営計画	P12～P13

1.はじめに

河内印刷出雲株式会社は 2005 年 3 月より会社経営の基本理念に基づき環境方針を定め、社会に貢献するため、全社員で環境活動に取り組んでいます。

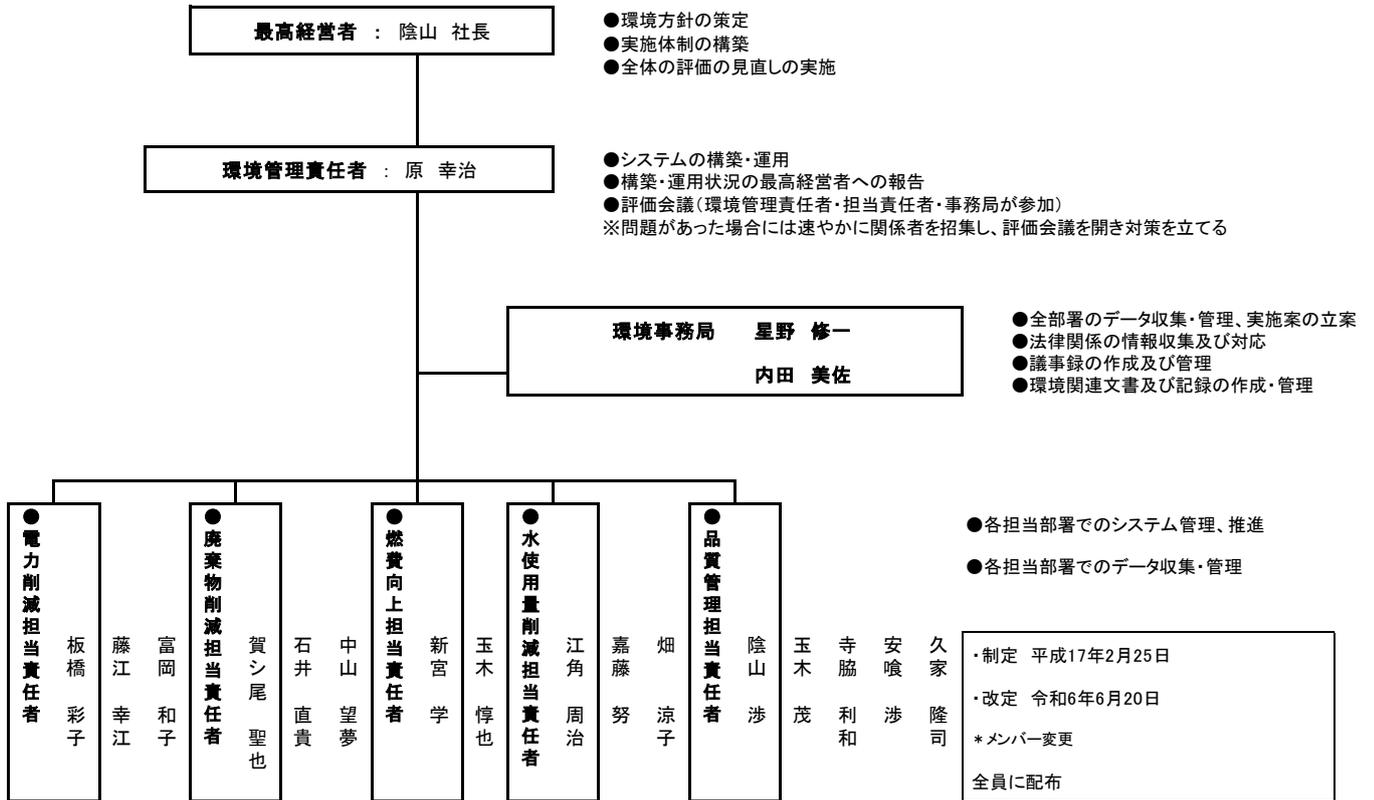
2.組織の概要

事業者名および代表者名	河内印刷出雲株式会社 代表取締役社長 陰山 徹
所在地	島根県出雲市下古志町 279
環境管理責任者氏名および 担当責任者連絡先	環境管理責任者 営業係長 原 幸治 環境事務局担当者 営業 星野 修一 連絡先 Tel0853-21-7147 Fax0853-22-6473 E-mail : hoshino-shuichii@water.ocn.ne.jp
事業活動の内容	・パッケージ(印刷紙器)の企画、設計、製造 ・一般印刷(包装紙・葉等)の企画、設計、製造 ・美粧ダンボールの企画、設計、製造 ・シール、ダンボール箱、緩衝材の企画、販売 ・ラミネートフィルム、PP 袋等の企画、販売 ・その他各種包装資材の企画、販売
事業規模 (令和 5 年度実績)	総製品生産量 837.9トン 総従業員数 24 人 事業所の延べ床面積 1165.7 m ²

3.対象範囲

・全組織、全活動

エコアクション21 実施体制



4.会社経営の基本理念

- ・会社とは社員(従業員)の生活の安定と幸せを司る手段としての場であると考えます。
- ・お客様、取引業者との信頼関係の上に経営基盤の安定を目指します。
- ・綺麗な職場、清潔な職場、明るい職場で心に余裕を持てる会社を目指します。
- ・社会の一員であることをわきまえ環境問題に取り組み、環境に優しい会社を目指します。

5.環境経営方針

スローガン 「とどけよう美しい地球、未来の子供たちへ」

-私たちは会社経営の基本理念に基づいて環境活動に取り組みます-

-私たちは環境経営の継続的改善に取り組みます-

1. 当社に適用される環境関連法規を遵守します。
2. 不良品の発生による環境経営の負荷を低減します。
3. CO2排出量の削減に向け省エネ活動を推進します。
4. 一般廃棄物及び産業廃棄物を適正に管理し、廃棄物排出量の削減に取り組みます。
5. 節水に取り組み総排水量の削減を推進します。
6. 主製品である紙器の生産に当たり、資源の効率的活用に努めます。
7. 全社員で3S運動(整理・整頓・清掃)を推進し、3R(削減・再使用・再生利用)により、きれいで働きやすい職場づくりに努めます。
8. 環境活動レポートを開示し、関連会社や地域との環境コミュニケーションに積極的に取り組みます。
9. 全社員に環境方針の理解と環境に関する意識向上を図ります。

制定日 平成 25 年 2 月 1 日

改定日 令和 2 年 12 月 14 日

河内印刷出雲株式会社

代表取締役 陰山 徹

6.環境経営目標と実績

—環境経営目標及び実績—

環境目標	環境目標項目	基準年実績	令和5年度 目標	令和5年度 実績	
二酸化炭素 排出量 の削減	二酸化炭素 排出量削減 (kg-CO2)	111,973 kg-CO2	令和4年実績 -1% 110,853 kg-CO2	108,086 kg-CO2	達成率 102.6% ○
	電力削減 (kWh)	131,705 kWh	令和4年実績 -1% 130,387 kWh		達成率 105.7% ○
	燃料使用量の削減 ガソリン+軽油(L)	15,695.5 L	令和4年実績 -1% 15,538.5 L	16,072.03 L	達成率 96.7% X
廃棄物 排出量 の削減	廃棄物削減 (紙類の廃棄物量)kg	330,180 kg	令和4年実績 -3% 320,274 kg	296,670 kg	達成率 107.4% ○
	不良品の低減 (件数)	17 件	令和4年実績 -5件 12 件		達成率 75.0% X
水使用量 の削減	節水 (水使用量 m ³)	179.5 m ³	令和3年実績 100% 179.5 m ³	199.7 m ³	達成率 89.8% X
化学物質 使用量 の削減	化学物質の適正管理	適正管理の維持	適正に管理できました		適正に管理できました
グリーン購入 の推進	グリーン購入推進	購入推進の維持	積極的に購入できました	積極的に購入できました	達成率 ○

※二酸化炭素排出係数は、中国電力の令和3年度調整後排出係数0.552(kg-CO2/kWh)を使用しております。

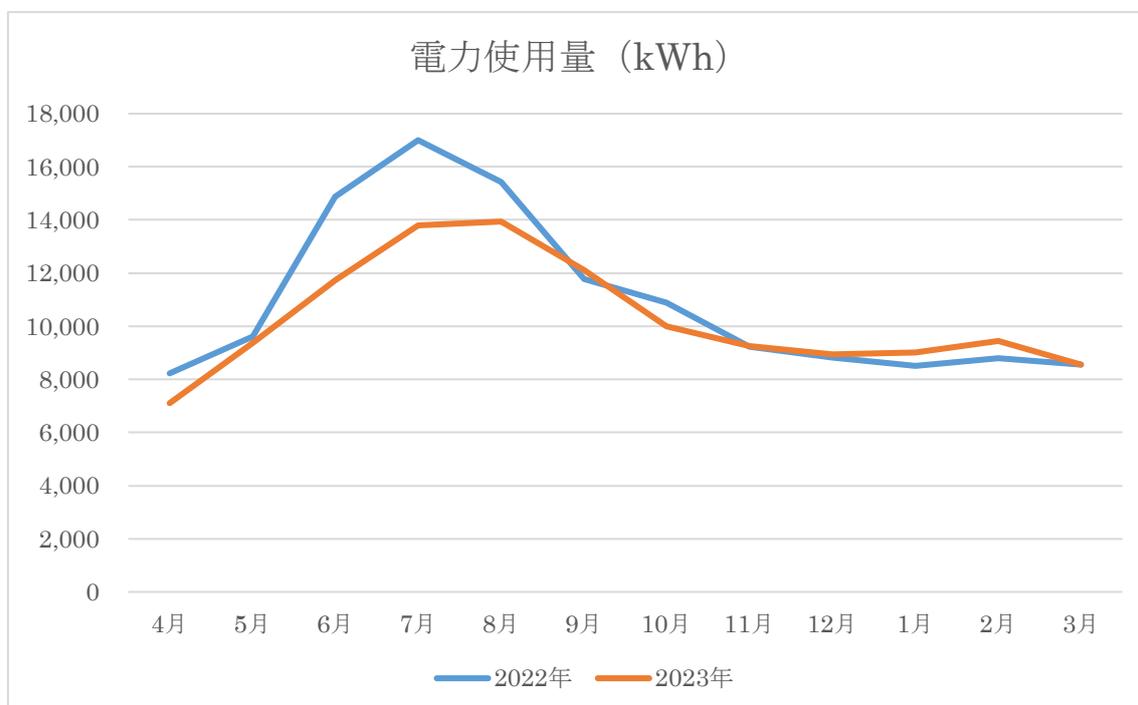
※二酸化炭素排出量には灯油・LPGガスも含まれております。

※要求事項「自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの向上及びサービスの改善」については
廃棄物削減目標の中にある「不良品の低減」の目標が該当します。

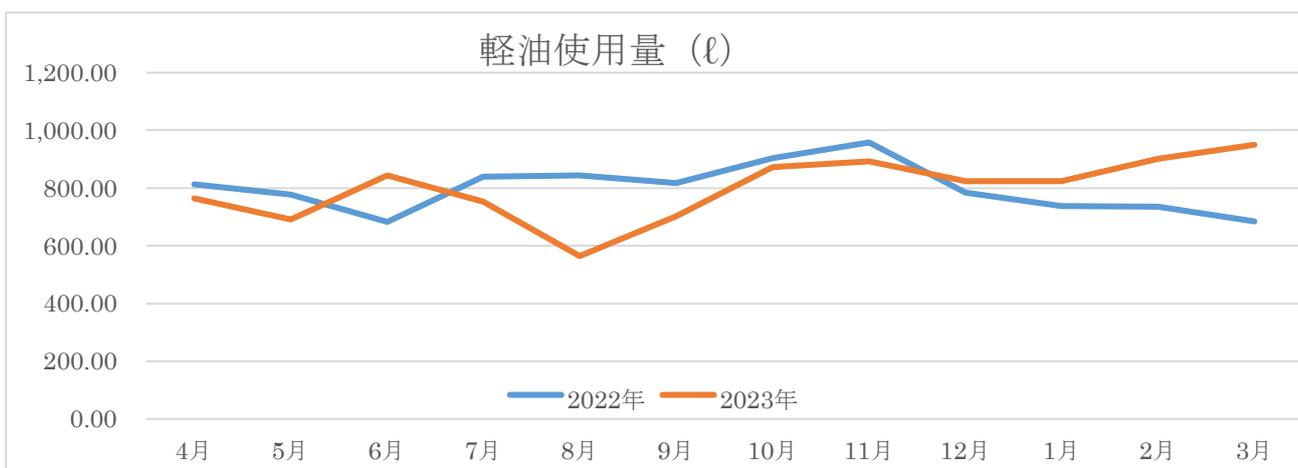
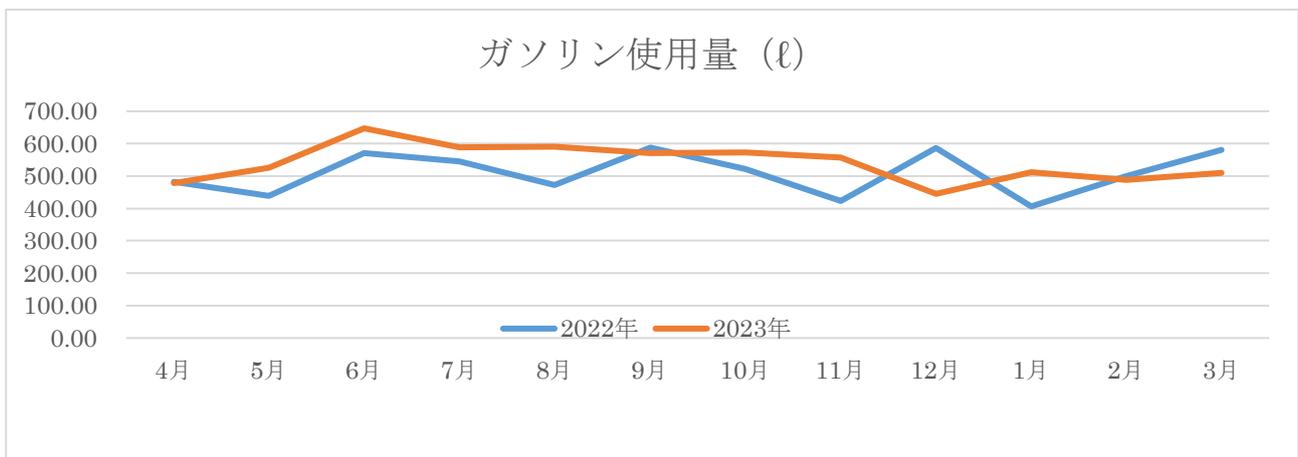
7. 環境経営計画の取組結果と評価

二酸化炭素削減

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	数値目標は達成できました。作業時間、仕事内容によって使用電力は大きく変化します。本年は外注先へ回す仕事が多かったことから自社での仕事量が減り、相対的に使用電力量が落ちたのかもしれませんが。取り組み内容の評価きちんと実施できていました。そのうえで個人の意識に委ねられていることが大きいいためもっと無駄を省く意識の向上を求めています。
空調の適温化	○	
空調を必要な区域や時間に限定して使用する	○	
使用頻度の低い場所は普段消灯する	○	
空調機フィルターの定期的な管理	○	



燃料削減による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	X	数値目標は達成することができませんでした。社用車の走行距離合計の上昇、燃料使用量の増加が主な要因となりました。取組み内容の評価としては社用車の燃費（平均）は前年と比べ若干ではありますが向上していたためエコドライブの配慮は行われていたと思われます。今後は輸送コスト、燃料コストを考慮したうえで社内全体で調整していく必要があると思います
エコドライブ（燃費走行）の励行	○	
発注・輸送(納品・引き取り)の計画化	○	
社用車の定期点検の実施	○	
社用車の走行距離・燃料使用量調査 燃料削減の呼びかけ	○	



廃棄物削減

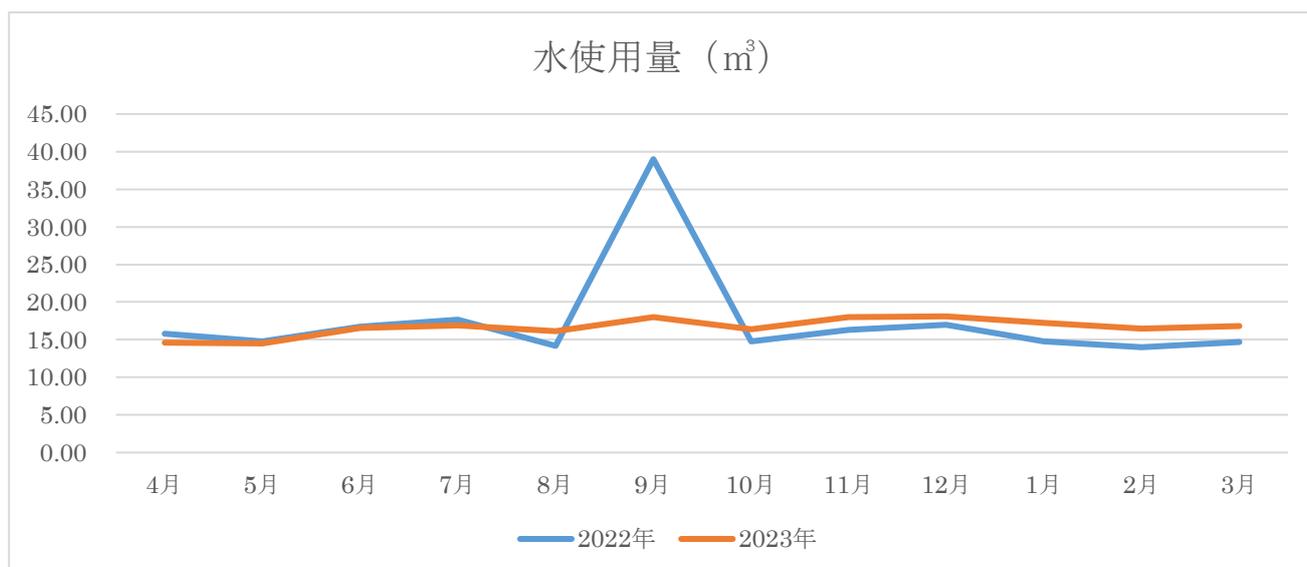
廃棄物削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	数値目標は達成することができました。年間原紙使用量約39トンの減少、原紙廃棄量約35トンの減少で廃棄率が2.2%減少となりました。外注利用により前年と比べ大幅に減少しました。取り組み内容の評価としては廃棄物、廃棄パレットの分別を徹底して行いました。回収しやすいようにサイズごとに積み上げてますが、サイズ違いで積んであることも多々ありました。次年度は都度呼びかけるように徹底して行いたいと思います。
マニフェストを基に廃棄物の適正な処理を行う	○	
納品の際の梱包、包装資材を再利用して廃棄物の削減を行う。	○	
廃棄物の分別を徹底する	○	
繰り返し利用できるパレットや通函を利用する	○	
廃棄パレットの分別を徹底して行う	○	

不良品低減

不良品低減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	数値目標は達成することができませんでした。確認、検査不足が不十分なことを含めヒューマンエラーが主な要因と考えられます。新入社員への教育不足があったのではないかと思います。取り組み内容の評価としては概ね行えていました。今後は不良品発生時の対策の取り組みの見直し。社員教育を徹底して行い、同じエラーを起こさないことが重要な課題だと思われます。
加工ミスによるロスの低減に努める 適正な処理を行う	○	
不良率の記録・管理を行う	○	
不良品発生時の各所対応	○	
製品損失報告書の作成・管理を行う 燃料削減の呼びかけ	○	
不良削減への呼び掛け	○	

総排水量の削減

総排水量の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	X	数値目標は達成することができませんでした。自社の水の使用の主な要因はトイレ使用によるものです。今年度は新入社員も増え、相対的に水の使用量が増えたと思われます。生理的な現象の為控えることは難しいのですが、普段の手洗い、トイレ後の手洗いを工夫して水使用量の削減を進めていきたいです。取り組み内容の評価としては定期的に節水励行の貼り換えを行っていました。
節水の呼びかけの表示	○	



化学物質の適正管理

化学物質の適正管理	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	—	例年通り、適正に管理徹底を行うことができました。次年度も引き続き行っていきます。
工場内保管の特定化学物質の在庫管理の徹底を行う	○	
MSDS（製品安全シート）の情報公開	○	
年間の使用量、購入量を把握する	○	

化学物質の種類	単位	化学物質実績	化学物質保管量	製品購入量	期首在庫	期末在庫	含有量(wt%)	商品名称
1,1-ジクロロ-1-フルオロエタン	kg	25.5	2.4	160.0	26.0	16.0	15.0%	Rクリーン
1,3,5-トリメチルベンゼン	kg	15.3	1.4	160.0	26.0	16.0	9.0%	
トルエン	kg	19.8	1.8	640.0	80.0	60.0	3.0%	ライフボンドNO. 1
フタル酸ジブチル	kg	66.0	6.0	640.0	80.0	60.0	10.0%	
酢酸ビニル	kg	0.02	0.00	5.0	0.0	0.0	0.3%	ライフボンドAV650Y-4

グリーン購入の推進

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	—	例年通り、積極的に購入することができました。次年度も引き続き行っていきます。
グリーンマークが表示してある製品の購入を積極的に購入する	○	

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
R4年度	4	0	12	11	3	1	12	2	7	6	5	8	71
R5年度	9	4	6	3	4	4	4	15	10	3	1	7	70

8. 環境関連法規等の順守状況及び、違反・訴訟等の有無

大区分	法規名	要求事項	遵守状況	実施状況
廃棄物	廃棄物処理法	・産業廃棄物の保管基準遵守	適正管理	○
		・産業廃棄物の委託基準の遵守	確認済み	○
		・産業廃棄物の運搬基準の遵守	マニフェスト 交付済み	○
		・委託の都度、マニフェストの 交付と保管管理	マニフェスト 交付済み	○
		・マニフェスト交付状況報告	電子申請受理	○
水質	浄化槽法	・浄化槽の適正管理	適正管理	○
大気	フロン排出抑制法	・業務用エアコンの適正管理 ※・使用・設置環境の維持保全 簡易・定期点検の実施 ・フロン類の漏洩時の措置 点検整備記録類の保存 ・機器廃棄の際に回収依頼書を渡し 引取証明を受ける	適正管理	○
防災	消防法	・社屋消防用設備の検査	適正管理	○
		・緊急時の対応と通報	事故無し	○
リサイクル	グリーン購入法	・新規物品購入の場合できる限り環境物品 等を選択するよう努める	適正管理	○
	家電リサイクル法	・排出時に業者へ適正に引き渡す	廃棄無し	○
	使用済自動車の 再資源化等に関する法	・使用済み時に業者に適正に引き渡す	廃棄無し	○
	資源有効利用促進法	・排出時に業者へ適正に引き渡す	適正処理	○
	容器包装リサイクル法	・再商品化、再資源化の義務	リサイクル料納付済み	○
市条例	出雲市廃棄物の処理及び 清掃に関する条例	・廃棄物の適正処理（分別排出）	適正管理	○
	公害防止に関する協定書	・浄化槽の適正管理	適正管理	○
	容器包装リサイクル法	・再商品化、再資源化の義務	リサイクル料納付済み	○
市条例	出雲市廃棄物の処理及び 清掃に関する条例	・廃棄物の適正処理（分別排出）	適正管理	○
	公害防止に関する協定書	・浄化槽の適正管理	適正管理	○

・適用される主な環境関連法規と遵守状況は以下の通りです。弊社に適用される環境関連法規は遵守されており、違反・訴訟などはありませんでした。なお関係当局からの違反等の指摘は過去3年間ございません。

9. 教育・訓練等の実施状況

- ・月初めの朝礼にて各部門の進捗状況・取組の発表、環境方針の唱和を行っています。
- ・火災訓練確認を事務局で行いました。次年度は全社員で行いたいです。

10. 代表者による全体評価と見直し

【上半期評価】

不良品低減部門で未達の月(件数的に)が連続して見受けられたので早急に対策を講じるように伝えました。その他の部門においてはそのまま遂行するように伝えました。節電部門は目標と比べかなり削減できている。

【下半期評価】

目標に対し3カ月連続未達の部門は節電、燃料削減でした。繁忙期が重なり仕事量、配送距離が上がったと思われます。下半期残り少ないが出来るだけ目標に近づけるように伝えた。その他の部門においてはそのまま遂行するように伝えました。

【総合評価】

前年度後半から続いている自社の状況として仕事量(生産量)が増えています。自社での製造が追いつかず外注に出すことも多くなりました。そのあたりを鑑みて今年度の結果としては可能な限り「良いエコアクション活動」ができたのではないかと思います。自社生産を外注に回すことによって、電力削減(自社機械稼働時間減少)、廃棄物削減(外注先で廃棄物が出る)は目標を達成したと思われます。その反対に燃費削減(外注先への移動、仕事量増加による納品機会の増加)は目標未達だったと判断します。不良品件数、水使用量は新しい社員が増えたことによるものだと思っています。近年の状況と若干違いがある年だったため比べることが難しいです。目標の達成、未達成が見受けられますが、エコアクション活動はきちんと行われていて、できる限りの削減に向けた活動は出来ていたことは評価しています。

11. 審査状況・審査指摘事項の対応

【審査状況】

令和5年12月15日に更新審査を行いました。
ガイドラインの要求事項に不適合はありませんでした。

【審査指摘事項の対応】

審査時の指摘事項は特にありませんでしたが、自社の傾向として「電力」が今後もっとも重要な課題として出てくるとご提案をいただきました。それに向け、クリーン電力、非化石燃料の利用を進めていくことを中長期の課題として目指していきます。

12. 次年度 環境経営目標

環境目標	環境目標項目	令和5年実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標
二酸化炭素 排出量の削減	二酸化炭素 排出量削減 (kg-CO2)	108,086 kg-CO2	前年実績 -1%	令和5年実績 -1%	令和6年実績 -1%
			107,005 kg-CO2	105,935 kg-CO2	104,876 kg-CO2
	電力削減 (kWh)	123,327 kWh	前年実績 100%	令和5年実績 -1%	令和6年実績 -1%
			123,327 kWh	122,094 kWh	120,873 kWh
	燃料使用量の削減 ガソリン+軽油(L)	16,072 L	前年実績 -1%	令和5年実績 -1%	令和6年実績 -1%
			15,911 L	15,752 L	15,595 L
廃棄物 排出量の削減	廃棄物削減 (紙類の廃棄物量)kg	296,670 kg	前年実績 100%	令和5年実績 -1%	令和6年実績 -1%
			296,670 kg	293,703 kg	290,767 kg
	不良品の低減 (件数)	17 件	前年実績 -5件	令和5年実績 -1件	令和6年実績 -1件
			12 件	11件	10件
水使用量 の削減	節水 (水使用量 m ³)	199.7 m ³	前年実績 100%	令和5年実績 -0.5%	令和6年実績 -0.5%
			199.7 m ³	198.7 m ³	197.7 m ³
化学物質 使用量の削減	化学物質の適正管理	適正管理の維持	適正管理の維持	適正管理の維持	適正管理の維持
グリーン購入 の推進	グリーン購入推進	グリーン購入推進の 維持	グリーン購入推進の 維持	グリーン購入推進の 維持	グリーン購入推進の 維持

12. 次年度 環境経営計画

電力削減	空調機については、フィルターの定期的な掃除、交換を行う等、適正に管理する。(毎週末フィルター清掃実施)
	空調は必要な区域や時間に限定して使用する。
	事務所、工場などの照明は、昼休み、残業時など、不必要な時は消灯している。使用時のみ点灯する
	ロッカー室や倉庫、使用頻度の低いトイレなどの照明は普段は消灯し、使用時のみ点灯する
燃料使用量の削減	発注・輸送(納品・引き取り)の計画化、行き過ぎた少量・多頻度輸送やジャスト・イン・タイムサービスの見直し
	エコドライブ(燃費走行)等運転方法の配慮の励行
	社用車の定期点検の実施
	社用車の走行距離・燃料使用量調査・燃料削減の呼びかけ
廃棄物削減	白紙、色紙、ダンボール紙の廃棄用カゴに飛散防止用ネットとシートを取り付ける
	納品の際の梱包、包装資材を再利用して廃棄物の削減を行う
	紙、金属、ガラス、プラスチック類、廃油等を種類ごとに分別カゴ、コンテナを適正に配置し、廃棄物の分別を徹底する
	製品輸送の際には繰り返し利用できるパレットや通函を利用する。
	廃棄パレットの分別を徹底して行う
不良品の低減	加工ミスによるロスの低減に努める
	不良率の記録・管理を行う
	不良品発生時の各所への対応
	製品損失報告書の作成・管理を行う
	不良品削減の呼びかけを行う
総排水量の削減	各水道使用場所へ節水の掲示を行う
	毎月の水量メーターの管理
	毎月漏水点検を行う
化学物質の適正管理	工場内保管の特定化学物質の適正な管理を行います
グリーン購入の推進	グリーンマークが表示してある製品の購入を進めていきます